

—写真訪問③—

羽 幌 測 候 所

羽幌は明治の末期、にしん漁の基地として栄えたが、春の天候急変には多くの漁民たちが悩まされていた。これが契機となって測候所の誘致運動が起こり、その結果建てられたのが羽幌測候所である。

創立は1918(大正9)年7月1日、道内では十番目の測候所であった。その後、増改築が行われたものの、老朽化に加えて、最近の新型観測機器の導入で狭くなり今回、新築されたものである。

新庁舎は鉄筋コンクリート2階建て(一部3階建て)合同庁舎で1階は旭川法務局羽幌出張所、測候所は2階に入居している。

なお、測候所の位置、広さなどはつぎのとおりである。

所在地 北海道苫前郡羽幌町字南3条4-1-1

庁舎面積 1062.28 m²

敷地面積 2076.09 m²

